

感染症情報

6月15日～21日(第25週) 神垣小児科

流行の程度および推移は、今週だけではなく過去2～3週間も含めて、院長の判断で決めたものです。
あくまでも神垣小児科を受診された患者さんからの情報です。流行は地域によって異なります。

新型コロナウイルス感染症

	疾患名	流行の程度	流行の推移	コメント
①	麻疹	★		
②	風疹	★		
③	水痘 (みずぼうそう)	★		
④	ムンプス (おたふくかぜ)	★		
⑤	百日咳	★		
⑥	溶連菌感染症	★★★★	→	小流行中です
⑦	肺炎 (マイコプラズマなど)	★		
⑧	ロタウイルス性胃腸炎	★		
⑨	その他の胃腸炎 (ノロウイルスなど)	★★★★	↑	食中毒がみられます
⑩	伝染性紅斑(リンゴ病)	★		
⑪	手足口病	★★★★	↑↑	増加傾向です
⑫	ヘルパンギーナ	★★	↑	増加傾向です
⑬	咽頭結膜熱(プール熱)	★		
⑭	アデノウイルス感染症	★★		まれにみられます
⑮	上記(⑪⑫⑬⑭)以外の 夏かぜ症候群	★★★★	↑↑	増加傾向です
⑯	RSウイルス感染症	★★	↑	
⑰	インフルエンザ	★		
⑱	新型コロナウイルス感染症	★★		1例ありました
⑲	ヒトメタニューモウイルス感染症	★★★★	↓	減少傾向です
⑳	その他のかぜ症候群	★★		高熱があります

現在流行しているのは「溶連菌感染症」です。3～10歳に多く見られますが、それ以上のお子さん、さらに成人でもみられます。発熱がない場合もありますから強い咽頭痛には注意が必要です。

「ヒトメタニューモウイルス感染症」は減少中ですがまだまだみられます。「RSウイルス感染症」が増加傾向なので症状が似ていて鑑別が難しいです。

「手足口病」「ヘルパンギーナ」などの「夏かぜ症候群」が増加傾向です。高熱と全身の発疹がある夏かぜも多くみられています。重症化することはまずありませんが、これから8月末頃まで続くと思われます。他には食中毒と思われる細菌性の「感染性胃腸炎」も増加傾向です。ご注意ください。

★	なし
★★	たまにあり
★★★	時々あり
★★★★	流行中
★★★★★	大流行中

↑	増加傾向にある
↑↑	著しく増加傾向にある
→	変化なし
↓	減少傾向にある
↓↓	著しく減少傾向にある